

9 環境関連法規制への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

主な適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	適正処理
リサイクル法	発生抑制、再利用、再生利用、再資源化	遵守
建設リサイクル法	分別解体等、再資源化等の促進、再生資源の使用	遵守
オフロード法	アイドリングストップの励行	遵守
排出ガ対策型建設機械普及促進規程	排出ガス対策型であることの確認	遵守
騒音規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
作業所で同意するその他の要求事項	時間外作業の抑制、禁止等	遵守
海洋汚染防止法	浚渫前に土砂採取分析及び海上保安部に結果の提出	遵守
水質汚濁防止法	水質基準の測定分析を自主管理	遵守
フロン排出抑制法	建設用機械の定期的な点検	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	適正処理

10 代表者による全体の評価と見直し

・本年度も活動内容は適正で、原価単位でのCO2発生量は削減できている。特に降雪が無かったこともあり、除雪の燃料使用が無く、CO2や水使用量はかなり少ないものになった。施工量(種類)や気候は特例的な部分が多いので、今後も環境省のクールチョイスに則り、2030年で基準年度比-26%になるよう今後も活取り組んでいきたい。受注の量(数)はほぼ従来通りであるが、工事の規模が大きくなってきており、引続き注意しながら活動を続けていきたい。

・グリーン購入や社会貢献については、しっかり実施できている。自然資源を保護又は維持するために環境配慮型の資材等は今後も優先的に使用していく。

※ 次項に評価及び見直しの結果一覧表を示す。

11 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果一覧表 No. 1

承認	作成
早 木	加 藤
2020/5/21	2020/5/20

方針番号	報 告 (環境管理責任者)	コメント・提案 (環境管理責任者)	評価・指示事項・変更の必要性 (代表者)
実環境 目標 の 及 達 成 び 状 況 、 運 環 境 用 活 動 結 計 画 の 果	① 電力消費量は増えたが、その分ガソリン等燃料の消費を抑えて二酸化炭素の排出量は原価単位では-42%削減出来ている。	活動は適正に行なわれている。原価単位でのCO2排出量は削減出来ており目標値の修正は必要なし。	問題なし。 変更の必要性: 有 <input checked="" type="radio"/> 無
	② 廃棄物の回収率は100%実施した。	回収率では計画(設計)=100%のため、処分量に関わらず目標を達成でき、問題なく実施している。	問題なし。 変更の必要性: 有 <input checked="" type="radio"/> 無
	③ 日常点検もしっかりしており、油流失等の事故は無かった。	従業員の意識が高く、日常からしっかり点検出来ている。また各現場に常備してある吸着マットや中和剤での対応訓練も定期的を実施している。	問題無し。今後も継続すること。 変更の必要性: 有 <input checked="" type="radio"/> 無
	④ 水の使用量が基準年比-47%削減できた。	昨年同様に水使用量は問題なく減っている。	余裕幅を無理に消化することは無い。特に問題なし。経過を見まもる。 変更の必要性: 有 <input checked="" type="radio"/> 無
	⑤ 再生資材等の購入が12件あり、目標を達成した。	工事で使用する資機材にも環境配慮型の資機材が増えてきている。それらを細かく集計したら、もっと件数があると思う。今後も積極的に使用していきたい。	問題無し。今後も継続すること。余力があれば機材の使用も件数に入れて比較できると良い。 変更の必要性: 有 <input checked="" type="radio"/> 無
	⑤ 環境に配慮した社会貢献として、清掃や除草等全12件を実施した。	当社は普段から除草や、各清掃活動を実施している。今後も継続していきたい。	問題無し。今後も継続すること。 変更の必要性: 有 <input checked="" type="radio"/> 無

11 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果一覧表 No. 2

承認	作成
2020/5/21	2020/5/20

方針番号	報告 (環境管理責任者)	コメント・提案 (環境管理責任者)	評価・指示事項・変更の必要性 (代表者)
⑥	環境関連法規制等の遵守状況 H31.4.23遵守状況の確認を実施	<ul style="list-style-type: none"> 全ての項目について遵守されている事を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題なし、経過を見まもる。 変更の必要性: 有 <input checked="" type="radio"/> 無
	関係する条例に変更が無い事を市に確認	<ul style="list-style-type: none"> 県・市の条例などの変更無し 	<ul style="list-style-type: none"> 問題なし、経過を見まもる。 変更の必要性: 有 <input checked="" type="radio"/> 無
外部からの苦情や環境要望	<ul style="list-style-type: none"> 外部からの苦情・要望など 特に無し。	<ul style="list-style-type: none"> 苦情については、その都度出来るだけ丁寧に対応して、適切に対策しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容に応じて、適切な対応をしているため問題無し。 変更の必要性: 有 <input checked="" type="radio"/> 無
環境方針 環境目標	①～⑥のすべて目標を達成している。	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題なし、経過を見まもる。 社長以下社内の人事体制に変動があったが、取組み時より現社長も専務取締役として方針や目標に深く関わっていたため、方針及び目標はそのまま踏襲する。 変更の必要性: 有 <input checked="" type="radio"/> 無
その他・社等	<ul style="list-style-type: none"> 環境教育について 	<ul style="list-style-type: none"> 特に問題はなく、各従業員の環境意識も高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題なし、経過を見まもる。 変更の必要性: 有 <input checked="" type="radio"/> 無

※代表者は評価結果に基づき、環境方針・環境目標・環境活動計画及び環境経営システム等について変更の必要性を判断する。

環境目標設定書

承認	作成
早 木	加 藤

EA21 コア指標	環境方針	取組項目	中長期の環境目標（2021年まで）	2020年目標	2019年目標
エネルギーの消費①	事業所及び建設現場内の整理・整頓・清潔・清掃に留意します。事業活動に於ける電力・ガソリン・軽油などの削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。	電力消費量の削減	使用する電力の消費量を削減し、総量当たり二酸化炭素排出量を基準年度比-17%で継続する。	使用する電力の消費量を削減し、総量当たり二酸化炭素排出量を基準年度比-16%で継続する。	使用する電力の消費量を削減し、総量当たり二酸化炭素排出量を基準年度比-15%で継続する。
化石燃料等の燃焼④		ガソリン消費量の削減	使用するガソリンの消費量を削減し、総量当たり二酸化炭素排出量を基準年度比-17%で継続する。	使用するガソリンの消費量を削減し、総量当たり二酸化炭素排出量を基準年度比-16%で継続する。	使用するガソリンの消費量を削減し、総量当たり二酸化炭素排出量を基準年度比-15%で継続する。
		軽油消費量の削減	使用する軽油の消費量を削減し、総量当たり二酸化炭素排出量を基準年度比-17%で継続する。	使用する軽油の消費量を削減し、総量当たり二酸化炭素排出量を基準年度比-16%で継続する。	使用する軽油の消費量を削減し、総量当たり二酸化炭素排出量を基準年度比-15%で継続する。
		灯油消費量の削減	使用する灯油の消費量を削減し、総量当たり二酸化炭素排出量を基準年度比17%で継続する。	使用する灯油の消費量を削減し、総量当たり二酸化炭素排出量を基準年度比-16%で継続する。	使用する灯油の消費量を削減し、総量当たり二酸化炭素排出量を基準年度比-15%で継続する。
廃棄物の排出⑦	事業所及び建設現場から出る廃棄物を最小限にするため、分別を推進します。	分別及びリサイクルの推進	廃棄物の回収率は95%以上を達成する。	廃棄物の回収率は95%以上を達成する。	廃棄物の回収率は95%以上を達成する。
	建設機械等の自主点検整備を実施し、機械油等の漏出の低減を推進します。	油等の漏出の防止	年次・月例及び日常点検を実施し、油漏出等の問題発生件数を2件/年以下にする。	年次・月例及び日常点検を実施し、油漏出等の問題発生件数を2件/年以下にする。	年次・月例及び日常点検を実施し、油漏出等の問題発生件数を2件/年以下にする。
水の消費③	事業所内で使用する使用水量の削減により、総排水量の削減に努めます。	事業所利用水の節水	水の使用量を総量当たり基準年比-12%削減する。	水の使用量を総量当たり基準年比-10%削減する。	水の使用量を総量当たり基準年比-9%削減する。
総物質投入量②	省資源のために、グリーン購入を積極的に推進します。	再生資材等の環境配慮製品の情報を収集する	再生可能、有害性の化学物質の含有量が少ない等の建設資材等を12件/年以上購入する。	再生可能、有害性の化学物質の含有量が少ない等の建設資材等を12件/年以上購入する。	再生可能、有害性の化学物質の含有量が少ない等の建設資材等を12件/年以上購入する。
社会貢献	環境活動の社会貢献を推進します。	環境に配慮した社会貢献の推進	社会貢献環境活動を10件/年以上取り組む。	社会貢献環境活動を10件/年以上取り組む。	社会貢献環境活動を10件/年以上取り組む。